



令和7年3月7日発行

東通村学校保健会

東通村学校保健会では、これまで村内の園児・児童生徒の保健に関わるデータの保存と年度ごとの取り組みの記録を目的として、冊子「保健会誌いちい」を発刊してまいりました。関係者のご協力のもと昨年令和5年度で第28号まで発刊してきましたが、今年度から気軽により多くの皆さんに村内の子供たちの状況や学校保健会としての取り組みを知っていただくことを目的として、紙面「保健広報紙いちい」としてリニューアルすることといたしました。

今後とも、東通村全ての子供たちの健やかな成長のために、学校保健会の取り組みについて情報発信してまいりますので、ご理解とご協力をいただければ幸いです。

東通村学校保健会会長 祐川文規

## 今年度もさまざまな活動を行いました！

|   | 事業名                   | 月日        | 会場    |
|---|-----------------------|-----------|-------|
| 1 | 東通村学校保健会総会            | 6月17日(月)  | 東通小学校 |
| 2 | 第1回すこやか会議(思春期教室:2・3年) | 7月3日(水)   | 東通中学校 |
| 3 | 海の食育アクション(4年)         | 11月27日(水) | 東通小学校 |
| 4 | 第2回すこやか会議(いのちのお話:4年)  | 12月6日(金)  | 東通小学校 |
| 5 | 東通村よい歯の子ども表彰          | 12月20日(金) | 小中各学校 |
| 6 | 理事会(年3回)              | 6月17日(月)  | 東通小学校 |
|   |                       | 12月12日(木) |       |
|   |                       | 3月7日(金)   |       |
| 7 | 広報紙「いちい」発行            | 3月7日(金)   |       |

### ほかにも・・・

- ・小学校では、6年生を対象に村保健師による『生活習慣の改善』『飲酒・喫煙・薬物乱用防止教室』『認知症サポーター養成講座』『SOSの出し方講座』を行いました。
- ・中学校では、全校生徒を対象にむつ警察署生活安全課巡査長による『薬物乱用防止教室』がありました。

### ここで・・・

#### 『認知症サポーター』とは何か知っていますか？

- ・認知症の人の「応援者」です。
- ・特別なことをする人ではありません。
- ・認知症の人を温かい目で見守る人のことを言います。



6年生は全員認知症サポーターになりました。

6年生は、たくさん  
のことを学びましたが、  
学んだこと全てが、**生活習慣病**に関係している  
ということに気が付いた  
ようです。

良い歯ふえています



東通村よい歯の子どもの表彰が、12月に各校で行われました。

☆ 今年度の入賞者 206名



|      |                  |
|------|------------------|
| 最優秀賞 | 6名 (小3名・中3名)     |
| 優秀賞  | 141名 (小85名・中56名) |
| 優良賞  | 59名 (小31名・中28名)  |



\* 審査基準：学校歯科医の推薦・東通村学校保健会の基準による



【小学校最優秀賞受賞者】



小学生3名は、「歯と口の健康大使」に任命されています。

【小学校】

- 5年 相内 唯愛  
\*昨年度に引き続き
- 5年 二本柳 葵
- 6年 澤田 快翔

【中学校】

- 2年 加糠 海音
- 3年 坂本 響
- 3年 奥島 大嘉  
\*昨年度に引き続き



【中学校最優秀賞受賞者】

# 小学校の取り組み



いのちのお話出前講座



いのちのお話出前講座は、青森県助産師会「いのちのお話プロジェクトあかり」の助産師さんが、いのちの誕生（いのちの始まり・胎児の成長・誕生の様子等）の素晴らしさやいのちの大切さを実感できるような内容で、教材を効果的に活用しての体験型学習を行っています。

## 【児童の感想】

- ・生きていだけで100点満点ということがわかりました。手紙を読んで、ママは自分を大切に育ててくれたことがわかりました。この世に生まれてよかったです。
- ・赤ちゃん人形をだっこしてみてもとても重かったです。赤ちゃんがどのように成長するのかとか「命」がとても大切なことがたくさんわかりました。
- ・いのちのお話を聞いて命がとても大切なことがわかりました。すごいと思ったことは、赤ちゃんの始まりが1mmくらいということと、赤ちゃんが産まれる時にとっても細い命の通り道を通ってくるのがすごいと思いました。

## 【保護者の感想】

- ・私たち親だけではなく、子供たちにも貴重で大切な時間だったと思います。とてもわかりやすく「いのち」はどういうものなのか、なぜ大切にしていけないといけないのかを伝えてくれて本当にありがとうございました。家に帰ってきて「ギュッ」としてみました。とても温かかったです。
- ・残念ながら参加することはできませんでしたが、帰ってきてから、おへそ同士をくっつけてギュッしてみたいと言ったり、授業の内容を教えてくださいました。そして手紙を読み終えて抱きついてきたのですが泣いていました。生まれた時の大変さ等を理解してくれたようです。今回は手紙でしたが、気持ちを伝えるって大事だと思いました。
- ・4年生にもなると、口答えをしたり暴言を吐いたりで大変と思うことも多くなりますがお腹の中に来てくれた時や会えた時の気持ちを思い出す機会になりました。命がこの世に出てくるのは「キセキ」なのだ改めて思いました。

「いのちのお話出前講座」は、毎年4年生を対象に行っていますが、今年度は参観日に実施したところ、たくさんの保護者の方の参加がありました。いのちのお話出前講座をやっている学校は、下北管内では東通小学校だけということです。今後も継続してやっていく予定です。



海の食育アクション



認知症サポート養成講座



飲酒・喫煙・薬物乱用講座

# 中学校の取り組み



**思春期教室**は、命や性について関わってきた方を講師に招き、講話をしていただいています。今年度も八戸学院大学の高橋雪子先生を講師にお招きし、2・3年生を対象に、性に関する正しい知識（男女の体のつくり、月経、妊娠、多様性等）のお話や自他の心や体を守っていかうとする気持ちが高まるようなお話をしていただきました。

## 【思春期教室】

- ・ふだん聞けないことや知らなかったことを聞いて、とてもよい時間になりました。今回教わったことを活かし、これから気をつけていこうと思いました。
- ・今の思春期は、心と体がどちらも成長する大事な時期なんだとわかりました。また、心を育てるために大切だから、早寝早起きなどの生活習慣を見直したいです。
- ・「性」には、体だけではなく人によって心や好きになる人がちがうなどの多様性があることがわかりました。私も未来のことを考え、月経や性行為のことを学び、安全に生活できるようにしていこうと思います。

## 【薬物乱用防止教室】

- ・話を聞いて一番印象に残ったのは、薬物を乱用すると自分の心や体がボロボロになるだけでなく、家族や周りの人にも大きな迷惑をかけてしまうということです。インターネットで間違えて買ってしまう可能性があることを知り、気を付けたいと思いました。
- ・薬物は一度使ったら一生やめられなくなると知ったし、タバコやお酒を未成年で吸ったり飲んだりすると成長が止まるとわかりました。僕はこれからも成長したいので、絶対にやりません！
- ・薬物の危険性や高い依存性のほか、幻覚のせいで普通の社会生活が送れなくなる影響があるとわかりました。また、薬物だけではなく、タバコのニコチンやお酒のアルコールなども同じような成分、高い依存性をもつことがわかったので、親にも声をかけてみようと思いました。



↑思春期教室の後、講師の高橋雪子先生から保護者向けの講演も実施されました。

《おわりに》

日頃より、本会の活動に対しましてご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。東通村の子供たちが抱えている様々な健康課題解決に向け、今年度も取り組みました。来年度も関係機関からのご支援とご協力をいただきながら各種活動のさらなる充実を図り、子供たちの心身の健康を育む取組を行いたいと考えています。今後もより一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。